

家庭用品質表示法に基づく新洗濯絵表示

平成 28 年 12 月 1 日 施行

改正された家庭用品質表示法に基づく繊維品品質表示法が 2016 年 12 月 1 日から施行され、現在の絵表示は新絵表示に変更されます。2016 年 12 月 1 日以後は家庭用国際標準化機構 (ISO) の表示が、義務づけられることとなります。

洗濯処理のための表示は、洗濯機のイメージから桶を模したイラストに変わって、温度や強弱が細かく分類されます。乾燥の方法は 4 種類から 11 種類、アイロン処理の方法に関しては、温度の高さが黒丸の数で表示されるようになります。

今迄の洗濯表示を定めた現行 JIS は、日本独自の規定であり、新 JIS は国際規格の ISO に準じたもので、日本国内と海外で同じ表記が使用され、洗濯表示が統一され消費者の利便性向上が期待されます。

クリーニング業界もこの趣旨を理解し、プロとして間違いの無いように対応していかなければなりません。

JIS改正で変わる洗濯絵表示

	現 行	JISの改正
洗濯	<p>(洗濯機)</p> <p>(手洗い)</p> <ul style="list-style-type: none"> 数字は液温度 弱は弱水流 中性は中性洗剤 	<p>(洗濯機)</p> <p>(手洗い)</p> <ul style="list-style-type: none"> 横棒は多いほど弱い
漂白	<p>エンソサラシは塩素系漂白剤による漂白</p>	<ul style="list-style-type: none"> △ : どのような酸化漂白剤も可 △ (横線) : 酸素系漂白剤のみ可 △ (X) : 漂白不可
乾燥	<p>(干し方)</p> <p>無地はつるし干し、平は平干し、斜線は陰干し</p> <p>(絞り方)</p> <p>→廃止へ</p>	<p>(自然乾燥)</p> <p>縦棒はつるし干し、横棒は平干し、棒 2 本は濡れ干し、斜線は陰干し</p> <p>(タンブル乾燥)</p> <p>→新設へ</p> <p>点の数が多くほど排気温度が高い</p>
アイロン	<p>高中低は温度、波線は当て布</p>	<p>点の数は高中低 (多いほど高い)</p>
クリーニング	<p>ドライ、ドライ/セキユ系ともにドライクリーニングができることを示す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> P (パーク)、F (石油系) はドライ、W はウェット 横棒は数が多いほど弱い